

重症化予防推進事業、初回精密検査利用率の検討

研究分担者：佐藤 光明 山梨大学 消化器内科
研究協力者：安部 達範 山梨県感染症対策センター 感染症対策推進主任

研究要旨：自治体の肝炎ウイルス検査として健康増進事業と特定感染症検査等事業が行われている。慢性肝炎や肝硬変、肝がんへの進展予防を図るため、2014年から肝炎ウイルス検査陽性者の初回精密検査、定期検査費用を助成する重症化予防推進事業が行われ、2020年度からは自治体、職域検査に加え妊婦検診・手術前検査陽性者も助成の対象となった。山梨県の肝炎ウイルス検査陽性者および重症化予防事業利用状況について調査した。健康増進事業における2008年～2020年度の合算の山梨県の肝炎ウイルス検査の受検者数、陽性者数（陽性率）は、B型肝炎40歳検診：10980人、50人（0.46%）、B型肝炎40歳以外検診：160485人、1162人（0.72%）、C型肝炎40歳検診：10772人、29人（0.27%）、C型肝炎40歳以外検診：159404人、780人（0.49%）であった。特定感染症検査等事業における2007年～2021年度の合算の肝炎ウイルス検査の受検者数、陽性者数（陽性率）は、B型肝炎：8036人、29人（0.36%）、C型肝炎：8104人、54人（0.67%）であった。

2014年から2023年までに重症化予防推進事業の初回精密検査の助成を受けたのは延べ90人、定期検査の助成を受けたのは延べ296人（重複あり）であった。初回精密検査を受けた人のほとんどが自治体検査陽性者であり、職域、妊婦検診・手術前検査陽性者は各2名であった。自治体検査陽性者のうち重症化予防推進事業利用率は2021年時点で3割にとどまっていた。助成制度の周知と共に利用状況の把握とフォローアップ体制を強化する必要がある。

A. 研究目的

自治体の肝炎ウイルス検査として市町村が実施する健康増進事業と保健所等が実施する特定感染症検査等事業が行われている。

肝炎ウイルス検査陽性者を精密検査に結び付け、慢性肝炎や肝硬変、肝がんへの進展予防を図るため、初回精密検査、定期検査費用を助成する重症化予防推進事業が2014年から行われている。2020年度からは自治体、職域検査に加え妊婦検診・手術前検査陽性者も助成の対象となった。

そこで本県の肝炎ウイルス検査陽性者および重症化予防事業利用状況について調査した。

B. 研究方法

山梨県の健康増進事業と特定感染症事業の肝炎ウイルス検査陽性者および重症化予

防推進事業利用件数を山梨県感染症対策グループに確認し解析した。

（倫理面への配慮）

今回の検討は受検数、陽性数を検討したものであり、個人情報には取り扱っていない。

C. 研究結果

1. 山梨県における健康増進事業

2008年～2020年度の合算の山梨県の肝炎ウイルス検査の受検者数、陽性者数（陽性率）は、B型肝炎40歳検診：10980人、50人（0.46%）、B型肝炎40歳以外検診：160485人、1162人（0.72%）、C型肝炎40歳検診：10772人、29人（0.27%）、C型肝炎40歳以外検診：159404人、780人（0.49%）であった。

自治体(市町村)が行う肝炎ウイルス検査

2008年(平成20年)～2020年(令和3年)度の山梨県における健康増進事業結果

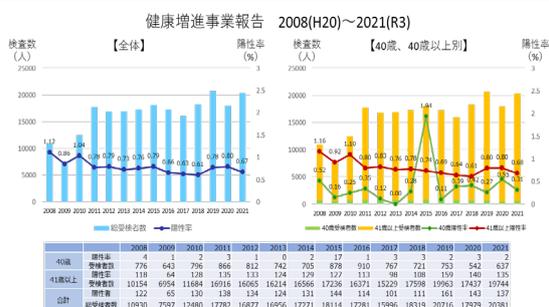
| B型肝炎ウイルス検査 | | 山梨県 | | 陽性者数 | | 受検率 | |
|------------|------------|-----------|--------|-------|-------|-----|--|
| 対象者数 | 138,286 | 10,980 | 50 | 0.46% | 7.94% | | |
| 40歳検診 | | | 1,162 | 0.72% | | | |
| 40歳以外検診 | | 160,485 | | | | | |
| B型肝炎ウイルス検査 | | 全国 | | 陽性者数 | | 受検率 | |
| 対象者数 | 20,758,533 | 1,154,483 | 4,651 | 0.40% | 5.56% | | |
| 40歳検診 | | 8,956,295 | 68,647 | 0.77% | | | |
| 40歳以外検診 | | | | | | | |

| C型肝炎ウイルス検査 | | 山梨県 | | 陽性者数 | | 受検率 | |
|------------|------------|-----------|--------|-------|-------|-----|--|
| 対象者数 | 138,286 | 10,772 | 29 | 0.27% | 7.79% | | |
| 40歳検診 | | 159,404 | 780 | 0.49% | | | |
| 40歳以外検診 | | | | | | | |
| C型肝炎ウイルス検査 | | 全国 | | 陽性者数 | | 受検率 | |
| 対象者数 | 20,758,533 | 1,156,460 | 1,712 | 0.15% | 5.57% | | |
| 40歳検診 | | 8,931,503 | 41,925 | 0.47% | | | |
| 40歳以外検診 | | | | | | | |

※1：40歳以外の検診対象者は41歳以上（対象者は各市町村にて異なる）
 ※2：全国平均受検率、陽性率を比較する場合は、検査対象者数に換算してください

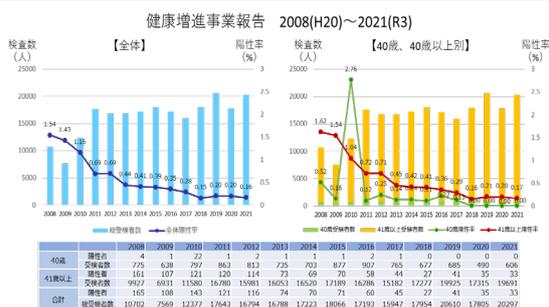
B型肝炎ウイルス陽性率の推移は全体では2008年:1.12%→2021年:0.67%と緩やかに減少傾向であった。40歳検診陽性率はばらつきがあるが概ね横ばいであった。

自治体検査 HBV



C型肝炎ウイルス陽性率の推移は全体では2008年:1.54%→2021年:0.16%と減少傾向であった。40歳検診では2018年以降陽性者は0人であった。

自治体検査 HCV



2. 保健所における特定感染症検査等事業

2007年～2021年度の合算の特定感染症検査等事業肝炎ウイルス検査の受検者数、陽性者数(陽性率)は、B型肝炎:8036人、29人(0.36%)、C型肝炎:8104人、54人(0.67%)、であり減少傾向であった。

保健所 特定感染症検査等事業

| | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | |
|------|------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| B型肝炎 | 検査件数 | 824 | 1,109 | 532 | 497 | 477 | 487 | 535 | 644 |
| | 陽性者 | 3 | 7 | 3 | 0 | 3 | 2 | 3 | 4 |
| C型肝炎 | 検査件数 | 921 | 1,105 | 528 | 496 | 473 | 487 | 537 | 642 |
| | 陽性者 | 15 | 15 | 4 | 2 | 2 | 2 | 0 | 2 |

| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31/R1 | R2 | R3 | 合計 | 陽性率 | |
|------|------|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-------|-------|
| B型肝炎 | 検査件数 | 477 | 465 | 434 | 533 | 507 | 313 | 202 | 8,036 | |
| | 陽性者 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 29 | 0.36% |
| C型肝炎 | 検査件数 | 467 | 458 | 436 | 534 | 507 | 313 | 200 | 8,104 | |
| | 陽性者 | 5 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 54 | 0.67% |

※数値は、県の保健所の数に加え、独自に保健所を設置している甲府市分を含む

3. 重症化予防推進事業利用件数

2014年から2023年まで重症化予防推進事業の初回精密検査の助成を受けたのは延べ90人であった。定期検査の助成を受けたのは延べ296人(重複あり)であった。初回精密検査を受けた人のほとんどが自治体検査陽性者であり、職域、妊婦検診・手術前検査陽性者は各2名のみであった。自治体検査陽性者のうち重症化予防推進事業利用率は2021年時点で3割にとどまっていた。

初回精密検査

ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業利用件数の推移 (HBV、HCV合算)

| 年 | 陽性者数 ①※ | 定期精密検査 | | | 初回精密検査 ③ | 合計 (②+③) | 利用率(%) ③/① |
|------|------------|--------|------------|----|-------------|-------------|---------------|
| | | 総数 | 市町村 保健所 | 職域 | | | |
| 2014 | 207 | 15 | 15 | - | 5 | 20 | 9.7 |
| 2015 | 220 | 23 | 23 | - | 4 | 27 | 12.3 |
| 2016 | 176 | 10 | 10 | - | 10 | 20 | 11.4 |
| 2017 | 147 | 8 | 8 | - | 27 | 35 | 23.8 |
| 2018 | 144 | 7 | 7 | - | 79 | 86 | 59.7 |
| 2019 | 203 | 8 | 7 | 1 | 41 | 48 | 23.6 |
| 2020 | 179 | 8 | 7 | 1 | 42 | 49 | 27.4 |
| 2021 | 170 | 5 | 5 | - | 46 | 51 | 30.0 |
| 2022 | 5 | 3 | 1 | 1 | 20 | 23 | |
| 2023 | 1 | 1 | - | - | 22 | 23 | |
| 計 | 90 | | | | 296 | 386 | 51.3 |

※①-健康増進事業+特定感染症検査等事業

D. 考察

山梨県の自治体検査での肝炎ウイルス陽性者数は減少傾向であった。陽性者数から見た重症化予防推進事業利用率は低く、また受診確認・追跡も制度利用者の確認のみで十分といえなかった。しかし40歳検診の陽性者は数名であるため新規陽性者は少なく、実際の初回精密検査対象者と利用者数は同等の可能性はある。一方で40歳検診対象者数から見た受検者数は低く、制度の周知と共に受検に結びつける対策が必要である。

E. 結論

山梨県では例年一定数の肝炎ウイルス検査陽性者がいるが、重症化予防推進事業利用率は低かった。県全体での周知する対策が必要である。

3. その他

なし

F. 政策提言および実務活動

<政策提言>

なし

<研究活動に関連した実務活動>

山梨県の肝疾患診療連携拠点病院である山梨大学医学部附属病院肝疾患センター副センター長として、全国の肝疾患診療連携拠点病院連絡協議会、山梨県肝炎対策協議会、山梨県地域両立支援推進チーム等で肝炎撲滅のために活動。

G. 研究発表

1. 発表論文

なし

2. 学会発表

なし

3. その他

啓発資材

なし

啓発活動

1. 令和5年度肝炎医療コーディネーター研修会

令和5年10月21日 主催：日本肝臓学会

2. 令和5年度 山梨県肝疾患拠点病院医療従事者研修会

令和6年3月7日 主催：山梨大学医学部附属病院肝疾患センター

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし